

動画買い切り型プランのご紹介



株式会社アイデミー

会社概要

会社名 株式会社アイデミー（証券コード 5577）

代表者 代表取締役 執行役員 社長
石川 聡彦（Akihiko Ishikawa）

会社理念 先端技術を、経済実装する。

所在地 〒100-0004
東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi Oneタワー6F

ワークショップ
アドバイザー 川越 至桜（東京大学生産技術研究所 准教授）

資本金 5,100万円（2024/5/31時点）

連結従業員数 132名（2024/11/30時点、正社員のみ）

単体従業員数 93名（2024/11/30時点、正社員のみ）

加盟団体

Keidanren
Policy & Action

一般社団法人
JSAI 人工知能学会
The Japanese Society for Artificial Intelligence

一般社団法人
日本ディープラーニング協会



GX League

Human
Capital
Management
人的資本経営コンソーシアム

グリーン人材開発協議会
Green Talent Development Association

導入企業（一例）

DAIKIN

AsahiKASEI

Nニチレイ

YKK™
Little Parts. Big Difference.™

HONDA

MAZDA

FURUKAWA
ELECTRIC GROUP

ZEON

NTT DATA
株式会社NTTデータユニバーシティ

NS Solutions

TOPPAN

大和証券
Daiwa Securities

九州電力
ずっと先まで。明るくしたい。

三井金属

三井化学

NISSAI



特徴

日本最大級のAI/DXオンライン学習サービス「Aidemy」の動画買い切り型プラン



累計ユーザー35万人※1を超えるオンライン学習サービス「Aidemy」動画コンテンツ



250以上の学習コースから厳選された92の動画ラインナップ※2



買い切り後は、無期限視聴で貴社の研修の組み込みがしやすい



動画納品のため、貴社のLMS(学習管理システム)に導入が可能

※価格に関しては弊社[webサイト](#)よりお問い合わせください

お申し込みに関して

- 動画コンテンツの利用目的は研修に限ります。
- 受講対象は企業所属の従業員のみとなります。
(関係会社も受講対象とされたい場合は、別途ご相談ください)
- 納品について
 - ご注文の本数により納期が異なります。ご注文に応じて納期を提示させていただきます。
 - 「1つの動画ファイル」もしくは、「チャプター毎の複数動画ファイル」で納品可能
 - 「mp4」形式で納品となりますが、他形式の提供もご相談可能
 - 動画コンテンツのみOneDriveにて納品いたします。(システムは含まれません)
- 動画コンテンツには、チャプター毎に出題される演習問題は含まれません。

動画ラインナップ

主なコースカテゴリー

- ✓ キャッチアップ
- ✓ ビジネス変革
- ✓ セキュリティ
- ✓ デジタルテクノロジー
- ✓ GX（グリーントランスフォーメーション）

Aidemy Business／Aidemy GXで人気の下記コースも対象です。

- 10分でキャッチアップシリーズ
- DXリテラシー標準準拠コース
- これだけはおさえないWord基礎／Excel基礎
- 情報セキュリティよもやま話 Vol.1 / Vol.2
- ゼロから学ぶカーボンニュートラル基礎 2024年度版

厳選した人気コンテンツをご用意 動画ラインナップ（10分でキャッチアップ）

※1「時間」は学習目安時間です。
※2 各動画の価格についてはお問合せください。

カテゴリ	コース名	時間	概要
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_DXとは	0.5	今後の組織運営を考える上で、DXへの取り組みは避けて通れません。本コースではDXの定義から具体的な事例、現在の日本における課題などを10分にまとめて紹介します。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_DXが求められる背景	0.5	DXの重要性を理解するには、社会、顧客価値、競争環境がそれぞれどのように変化しているかを把握する必要があります。本コースではDXが重要視される背景について、10分にまとめて紹介します。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_DXに必要なマインド・スタンスとは	0.5	DXに必要なのは、技術や知識だけではありません。激しい社会変化のなかで新たな価値を生み出す土台となる考え方や姿勢（マインド・スタンス）について、10分にまとめて紹介します。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_DX推進に必要なスキルとは	0.5	「DX推進スキル標準」の内容を知らない、またはDX推進にあたって専門人材確保に課題感をもっている方に向けて、DXに必要な人材・スキルの考え方を10分にまとめてご紹介します。デジタルスキル標準「DX推進スキル標準」の概要・内容構成を理解することで、自社に必要なDX人材のイメージを描きましょう。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_データ・デジタル技術の活用方法・事例	0.5	経産省が策定した「DXリテラシー標準」で示されている「How データ・技術の利活用」のうち、とくに生成AIを取り上げて事例と活用法を10分でご紹介します。あまり触れたことのない方も、具体例を知ることで生成AIをはじめとする技術やツールをご自身の業務で活用できないか、考えるきっかけとしてみてください。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_DXで活用されるデータとは	0.5	DXに必要な知識であるデータについて、10分にまとめてご紹介します。データの重要性、DXとの関係性、データ活用のポイント、効果的なデータ活用の方法などを分かりやすく解説しています。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_サイバーセキュリティとは	0.5	年々高まる身近なサイバーセキュリティリスクについて、10分にまとめてご紹介します。セキュリティの基本的な仕組みと個人がとるべき対策について理解を深めましょう。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_ネットワークとは	0.5	インターネットなどを利用する際の基礎知識として、ネットワーク・インターネットの仕組みを10分でご紹介します。また、モノのインターネットと呼ばれるIoTについても具体例を交えて解説しています。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_コンピュータとは	0.5	コンピュータとは何かを10分にまとめてご紹介します。「最初のコンピュータ」はどんなものだった？ 内側はどうなっている？ 炊飯器にも搭載されているの？ といったところから紐解いて、コンピュータがどんなところで、どのような役割を果たしているかイメージできるようになることを目指します。

厳選した人気コンテンツをご用意 動画ラインナップ（10分でキャッチアップ）

※1「時間」は学習目安時間です。
※2 各動画の価格についてはお問合せください。

カテゴリ	コース名	時間	概要
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_ソフトウェアとは	0.5	実は多くの方が日々恩恵を受けているけれどよくわからない「ソフトウェア」について、10分で解説します。ハードウェアとの違いや、コンピュータのなかでの役割、パソコン以外で使われているソフトウェアについても紹介。受講後はソフトウェアを少し身近に感じられるようになるはずです。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_クラウドとは	0.5	クラウドとは何かを10分にまとめてご紹介します。クラウドのメリットと実際の活用例を解説し、ビジネスにおけるクラウド活用の理解を深めます。クラウドがわからない方も迅速にキャッチアップできる内容です。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_AIにできること	0.5	DX推進に貢献する技術として注目されるAI。本コースではAIの定義からAIの仕組み、現在のAIにできることを10分にまとめて紹介します。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_生成AIとは	0.5	ChatGPTのリリースを皮切りに、さまざまなサービスや活用方法が生まれ続けている生成AI。このコースでは、生成AIとは何か、生成AIの課題、生成AI市場の動向について10分にまとめてご紹介します。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_AIガバナンスとは	0.5	生成AIが急速に進むいま、AIに関する規制や標準化、ガイドラインの策定が急務とされています。このコースでは、AIガバナンスの重要性と各地域ごとの取り組みについて10分にまとめて紹介します。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_機械学習とは	0.5	機械学習の仕組みを10分にまとめてご紹介します。機械学習を初めて学ぶ人が、機械学習の基本的な仕組みを把握し、活用シーンをイメージできるようになることを目指します。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_Pythonとは	0.5	汎用性の高いプログラミング言語として知られるPythonについて、10分にまとめてご紹介します。Pythonの歴史や特徴、応用範囲や今後の展望について理解を深めましょう。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_Jetsonとは	0.5	AIを動かすためにはどのようなコンピュータが使われているのでしょうか。本コースでは、機械学習の「推論」のフェーズで企業から個人まで幅広く活用されている、NVIDIAが提供する小型で高性能なコンピュータ「Jetson」について10分にまとめて紹介します。
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_データサイエンスとは	0.5	「データサイエンスって何?」「データサイエンティストって何をする人?」そんな疑問を10分で解決!本コースでは、データサイエンスの基本から活用事例、プロジェクトの進め方までをわかりやすく解説します。全体像をつかみ、次の学びにつなげられる内容です。データを使った意思決定に興味がある方は、ぜひご覧ください!
キャッチアップ	10分でキャッチアップ_AI拡張型開発とは	0.5	AI技術を活用したアプリケーションの設計、コーディング、テストなど、ソフトウェア開発プロセス全体をAIが支援する「AI拡張型開発」が注目を集めています。このコースでは、AI拡張型開発の定義や主要な特徴、そして今後の展望について10分にまとめて紹介します。

厳選した人気コンテンツをご用意 動画ラインナップ（DXリテラシー標準/キャッチアップ）

※1「時間」は学習目安時間です。
※2 各動画の価格についてはお問合せください。

カテゴリ	コース名	時間	概要
キャッチアップ	DXリテラシー：マインド・スタンス ～ケーススタディで学ぶ、DXマインドとは？～	1	働き手一人ひとりのデジタルリテラシー向上、そして各自が変革に向けて行動できることを目指し、経済産業省は学びの指針となる「DXリテラシー標準」を策定しました。DXリテラシー標準は、「Why」「What」「How」「マインド・スタンス」の4項目から成り、必要なスキルや知識、マインドセットが体系的に示されています。
キャッチアップ	DXリテラシー：Why ～DXの求められる背景～	1	本コースでは「DXリテラシー標準」で定義されている「Why」（DXの背景）を理解するため、「社会」「顧客価値」「競争環境」における3つの変化を紹介します。
キャッチアップ	DXリテラシー：What（DXで活用されるデータ・技術）データ	1	本コースでは「DXリテラシー標準」で定義されている「What」（DXで活用されるデータ・技術）の理解を深めるため、「データ」を取り扱うための知識を紹介します。
キャッチアップ	DXリテラシー：How（データ・技術の活用）留意点	1	本コースでは「DXリテラシー標準」で定義されている「How」（データ・技術の活用）の理解を深めるため、DX推進における留意点について紹介します。
キャッチアップ	ビジネスパーソンのためのDX入門（ディティール版）	3	「DX推進を迫る世界的な社会構造の変化」「DXを阻む日本特有の社会構造」「DXとは何か」「DXを組織に展開する方法」を理解したいビジネスパーソン向けの入門コースです。DXを推進しなくてはならない理由を理解した上で、DX推進を阻む障害を認識し、デジタルネイティブな組織を目指すための考え方を理解している状態をコースのゴールにしています。
キャッチアップ	ビジネスパーソンのためのDX入門（サマリー版）	1.5	「DX推進を迫る世界的な社会構造の変化」「DXを阻む日本特有の社会構造」「DXとは何か」を理解したいビジネスパーソンを対象とした『ビジネスパーソンのためのDX入門講座』のサマリー版です。DXを推進しなくてはならない理由を理解した上で、DX推進を阻む障害を認識し、デジタルネイティブな組織とは何かを理解している状態をコースのゴールにしています。
キャッチアップ	ビジネスパーソンのためのAI入門	1.5	AI初学者向けのコースです。人工知能（AI）とは何か、何ができて何ができないのか、どのように活用されているのか、を理解することができます。ご自身の業務改善提案の解決策として、選択肢の1つにしていいただくことがゴールです。
キャッチアップ	ビジネスパーソンのためのデータサイエンス入門	2	「データサイエンス」や「データサイエンティスト」という言葉に興味があるビジネスパーソンを対象とした入門講座です。データサイエンスとは何か？ データ分析でできること、データサイエンティストに求められるスキル、データ分析プロジェクトの進め方について、初心者にもわかりやすく解説しています。「データサイエンス」は全く新しいことではなく、多くの方は既にビジネスの中で触れています。ツールを使うことだけがデータ分析ではなく、ビジネスの成果が得られるデータ分析を行う必要があります。本講座で、ぜひその視点を身につけてください。
キャッチアップ	ビジネスIoT入門	2	ネットワークを介してあらゆるモノがつながることによって、生活が便利になるだけでなく、業務上の様々な面で最適化が図られるなど、多くの注目が集まっているIoT技術。しかし、その定義や実態を理解できていないビジネスパーソンは少なくないでしょう。本コースでは、前提知識を持たない初学者でもわかりやすいよう、Chapterごとに知識を定着させるための「クイズ」を設けながらIoT技術について解説します。現代社会の常識となっていくIoT技術について、しっかり学んでいきましょう。

厳選した人気コンテンツをご用意 動画ラインナップ（DXリテラシー標準/キャッチアップ）

※1「時間」は学習目安時間です。

※2 各動画の価格についてはお問合せください。

カテゴリ	コース名	時間	概要
キャッチアップ	解説：「DXレポート2.1」	0.5	2021年8月31日に経産省が公開した「DXレポート2.1」について、どのような内容が書かれているのか、DXレポート、DXレポート2との比較もあわせてわかりやすく解説します。
キャッチアップ	【アイデミー主催】利用者向けセミナー～市場価値が高まるDX人材への第一歩～	1.5	2021/9/29に実施されたアイデミー主催の利用者向けセミナー動画です。DXの必要性を知り、実際にAidemy Business Cloudのコースに取り組むことで学習スタートの第一歩を踏み出していただくことをテーマとしたセミナーになります。【内容】①DXの必要性、学習の意義の再確認、② Aidemy Business Cloudの「ビジネス統計学入門講座」の演習問題の一部を実施。
キャッチアップ	ゼロから“イチ”を生み出す Dify活用術	0.5	Difyは、プログラミング不要でAIアプリケーションを開発できるツールです。本コースでは、業務を効率化したい方、AIアプリケーション開発をしたい非エンジニア、DXを始めたい企業の方を対象に、Difyの概要から活用シーンまで短時間で解説します。
キャッチアップ	データで見る：労働力人口減少とDX	0.5	世界各国で労働力人口の減少が課題になっています。このコースでは日本の労働力人口がどのように減少するのか、社会にどのような影響があるのかを、実際の調査結果をもとに解説します。DXが必要とされる社会的な背景の理解を深め、リスクリソグに取り組むメリットを確認しましょう。
キャッチアップ	定型業務を自動化しよう！概論編 RPA入門	1	「業務自動化を進めたいが、何から着手すべきかわからない」と悩むビジネスパーソンにおすすめです。RPAの基本、何ができるのか、成功事例などを学びます。自らの業務における課題を洗い出し、その課題をRPAによってどう自動化するかをイメージできるようになるところまでを目指します。

厳選した人気コンテンツをご用意 動画ラインナップ（ビジネス変革）

※1「時間」は学習目安時間です。

※2 各動画の価格についてはお問合せください。

カテゴリ	コース名	時間	概要
ビジネス変革	投資対効果を最大化するAI導入	3	機械学習を使ったビジネス立ち上げに関心のある管理職の方やテクノロジーを使った新規事業構築を担当する企画職の方向けのコースです。機械学習の企画づくりの勘所を理解し、データやAIが絡む企画のたたき台を作り込むことができる状態をコースのゴールにしています。
ビジネス変革	協創DX推進論	1.5	DXの導入と推進を急務とされている多くの日本企業が抱える様々な課題に対し、DXの定義からその推進を阻む壁、そして目指すべき姿に至るまで、組織変革と人材育成の双方に着眼しながら、DX推進に向けた数々のヒントをわかりやすく解説します。
ビジネス変革	非IT企業におけるIT人材の直接雇用の本格化	0.5	非IT企業がIT人材を直接雇用する動きが加速しています。この背景やIT人材を直接雇用する場合の課題などについて解説します。
ビジネス変革	事例で学ぶ！衰退産業のビジネスモデル変革	1	あらゆる産業で起きている市場変化に対し、ビジネスモデル変革が急速に求められています。衰退産業におけるビジネスモデル変革の成功・失敗事例を通じて、なぜデジタルによるビジネスモデル変革が必要なのかを理解しましょう。本コースを通じて、自社およびご自身の業務の方向性を振り返ってみてはいかがでしょうか。
ビジネス変革	事例で学ぶ！DX事業立案：最新事例集（2023年版）	0.5	DX事業における最新事例を集め、データ・デジタル活用の観点で7つの要素にわけて紹介します。多くの新しい事例とその要点を理解することができます。DX事業の立案方法について実践形式で解説したコンテンツ「事例で学ぶ！DX事業立案」の事例紹介部分のアップデート版としてご活用ください。 ※単独でも受講いただけますが、DX事業立案の全体像をつかむため、「事例で学ぶ！DX事業立案」を事前に受講することをおすすめします。
ビジネス変革	事例で学ぶ！DX事業立案	3.5	本コースは、DXを前提とした事業を立案するための研修である「DX事業立案ワークショップ」の講義部分を動画にしたものです。新規DX事業の企画構想を担当している方向けに、事業立案のポイントを豊富な事例の解説を踏まえながら実践形式で学んでいただけます。
ビジネス変革	変革マネジメント ～ミドルアップで"壁"を越える～	1	DXの取り組みに対し、期待する成果をあまり実感できていないとすれば、それは企業内にさまざまな組織に共通する「壁」が立ちはだかっているのかもしれないかもしれません。本コースでは、企業変革が進まない要因として、意識、組織、経営の3つの障壁を取り上げ、典型的な症状や構造、それらの「壁」を乗り越えるための各種アプローチをご紹介します。
ビジネス変革	未知の課題に立ち向かう：課題設定力向上のすすめ	1.5	DXプロジェクトの成功には、ビジネス課題を見抜く鋭い洞察力が必要です。思い描く理想に到達するために、視座、視野、視点の観点から広範な事象を俯瞰し、本質的な課題を見極める力が求められています。本コースを通じて、未知の課題に立ち向かうために必要な概念を習得しましょう。
ビジネス変革	隠れたニーズを掘り起こす！ソリューション提案のための要件定義	1	本コースでは、営業担当者として顧客の課題を解決するソリューション提案を行うための基本を学びます。顧客へのヒアリングを通じて「ウォンツ」の背景にある本質的な「ニーズ」をつかみ、求められるソリューションの仮説を作り、検証し、提案資料に落とし込むまでの一連の流れを身につけることを目指します。

厳選した人気コンテンツをご用意 動画ラインナップ（ビジネス変革）

※1「時間」は学習目安時間です。
※2 各動画の価格についてはお問合せください。

カテゴリ	コース名	時間	概要
ビジネス変革	システム開発における業務要件定義の勘どころ	2	プロジェクトの成功に不可欠な要件定義のやり方を学びます。要件収集、分析、文書化の方法を習得し、効率的で効果的なシステム設計の基盤を築けます。
ビジネス変革	AIプロジェクトを成功させる上流工程のツボ	1	AIプロジェクトの上流工程である「機械学習の適用領域の選択」と「業務データの入手・確認」では、AIプロジェクト固有の考慮点が数多くあり、これらの点をクリアにできるかどうかプロジェクトの成否を分ける大きなポイントです。本講座でぜひ「AIプロジェクトを成功させる上流工程のツボ」を押さえ、皆さんのプロジェクト成功に役立ててください。
ビジネス変革	プロジェクトマネジメント入門	1	プロジェクトマネジメントを初めて学ぶ方、業務でプロジェクト管理をされる方を対象にした入門コースです。プロジェクト成功のために気を配るべき8つの領域である「プロジェクト・パフォーマンス領域」について学ぶことで、プロジェクトマネジメントの全体像を把握し、土台となるマインドセットを身に付けます。
ビジネス変革	UXデザイン概論 ～ユーザー中心設計を理解する～	1	顧客の満足度や利用継続性を向上し、競争優位性を築くのに貢献するUXデザインは、製品やサービスが成功するために極めて重要な観点です。概論編の本コースでは、サービスを企画し、設計・実装に携わる方を対象に、なぜユーザー中心の考え方が必要なのか解説します。UXの基本的な考え方を理解することを目指します
ビジネス変革	UXデザイン実践 ～プロトタイプ作成～	1	顧客の満足度や利用継続性を向上し、競争優位性を築くのに貢献するUXデザインは、製品やサービスが成功するために極めて重要な観点です。実践編の本コースでは、サービスを企画し、設計・実装に携わる方を対象に、プロトタイプ作成の要点を解説します。市場調査から顧客・ユーザーの本質的なニーズを導き出し、プロトタイプを設計する手法を学びましょう。
ビジネス変革	今日から実践！ロジカルシンキング入門	1	日々の業務をより円滑に進めたいビジネスパーソンを対象に、「ゴールとその道筋を整理する」ロジカルシンキング（論理的思考法）の基本概念、実践方法を紹介します。個人での業務、上司とのコミュニケーション、チームでの活動、顧客提案や他社との協業など、あらゆるシーンで活用いただけます。
ビジネス変革	Power BI基礎編 データ可視化と活用概論	1	BI（ビジネスインテリジェンス）とは、社内にある大量のデータを統合・可視化し、経営や営業などあらゆる企業内活動でスピーディな意思決定を促進するためのツールです。全社的にBIツールを使いこなすことにより、データを元にした意思決定を社内文化として根付かせることができ、全社的なDXを加速させることが可能となります。本コースでは、Microsoft Power BIを具体例として、データ可視化に必要な基本的な考え方と手順について解説します。

厳選した人気コンテンツをご用意 動画ラインナップ（ビジネス変革）

※1「時間」は学習目安時間です。

※2 各動画の価格についてはお問合せください。

カテゴリ	コース名	時間	概要
ビジネス変革	Power BI実践編 データ可視化と活用の実践	1.5	Microsoft Power BIによるデータ可視化の具体的な方法や手順について、画面操作を交えながら詳細に紹介します。Excelの業務データをインプットとして、データを処理、ビジュアル化、社内共有するまでに必要な一連の流れと操作方法をステップを追って解説していきます。これにより、業務で活用できるレポート実装が可能となり、組織内でデータドリブンな意思決定を実現するための必須スキルを習得できます。
ビジネス変革	これだけはおさえないWord基礎	1	Wordでビジネス文書を作成する際、「素早く」「見やすく」を心掛けることが重要です。箇条書きや図の設定、繰り返し使う形式のテンプレート化、変更履歴といった機能を正しく活用することで、日々の文書作成が効率的になります。本コースでは、Wordを使用するうえで意識しなければならない考え方と基本操作をご紹介します。
ビジネス変革	これだけはおさえないExcel基礎	1	Excelでデータを加工、集計、分析するには、データベースとなる明細のリスト表をきちんと作成する必要があります。ミスがなく入力しやすい表を作成すること、そして求める集計表を素早く作成できることが効率化につながります。本コースでは、Excelを使用するうえで意識しなければならない考え方と基本操作をご紹介します。
ビジネス変革	AI時代に必須の「AI倫理」	1	AIの利活用が仕事やプライベートでの意思決定に直接影響を与えるようになってきている現在、AIを利活用する人は、AIの出力結果が誤情報ではないか、差別的であったりプライバシーを侵害したものではないか等、倫理的な責任を持つことがますます重要になっています。本コースでは、総務省と経産省が公開する「AI事業者ガイドライン」等を踏まえ、AI開発者、AIサービス提供者、AIサービス利用者といったそれぞれの立場別に、AIの利活用において倫理的に気をつけておくべき点を解説します。
ビジネス変革	事業戦略におけるデータ・AI活用	1.5	新たなビジネスモデルの構築に向けて、データ・AIの戦略的活用について解説します。データと事業成長の密接な関係を理解し、戦略策定におけるデータ・AI活用の勘所をつかむことをゴールとしています。
ビジネス変革	ビジネス変革を起こすためのブランディング入門	1.5	ブランディングについて基本から学びたい人のためのコースです。ブランディングが求められる背景、ブランド体系、ミッション・ビジョン・バリューといったポイントを事例とともに理解し、要件整理から社内外に浸透させるまでをステップごとに見ていきます。最後に自分自身をブランディングする演習で実践力を身につけます。
ビジネス変革	社会課題やメガトレンドをつかむ！ビジネス調査入門	1	「良い調査」の条件はなんだと思いますか？ 本コースでは、ビジネス調査の基本を学びます。調査設計、PEST、3C、5Forcesといったフレームワークの使い方などを解説し、テクノロジーを活かした調査手法もご紹介します。手順や情報を集める際のポイントを理解し、自信を持って調査を実施できるようになることを目指します。

厳選した人気コンテンツをご用意 動画ラインナップ（ビジネス変革/数学）

※1「時間」は学習目安時間です。
※2 各動画の価格についてはお問合せください。

カテゴリ	コース名	時間	概要
ビジネス変革	ビジネス変革を起こすためのマーケティング入門	1.5	DXを通じたビジネス変革には、市場の変化・顧客のニーズを理解し、組織が顧客に価値を届ける仕組みを作る力が必須です。本コースでは、PEST分析、5Forces分析、STP分析といった基本フレームワークと、SNS運用、SEO対策、生成AIの活用といったデジタルマーケティング手法を学び、マーケティング思考力を身につけます。
ビジネス変革	定型業務を自動化しよう！実践編 Power Automate for desktop入門	1	Power Automate for desktopを活用してPC作業を自動化するための入門コースです。基本操作を学んだ後、実践演習として、「Webサイトにログインし、得意先リストから会社詳細ページにアクセスし、ページを印刷する」という自動化フローの構築に挑戦します。ご自身の業務自動化を進める第一歩を踏み出してください。
ビジネス変革	データインプット統一ルールの勧め	1	DXにおいて、データ利活用は欠かせないテーマです。利活用のためには、機械判読可能な構造化されたデータである必要があります。本コースでは、総務省が示す「統計表における機械判読可能なデータの表記方法の統一ルール」に基づき、データ作成時の留意点について解説します。データインプットにおける統一ルールの重要性を学びましょう。
ビジネス変革	DX時代のアジャイル適用術	1	この講座では、DX時代に必要とされる「アジャイル思考」について、ツールや方法論を見ながら理解を深めていきましょう。まずはソフトウェア開発領域におけるアジャイルを知り、ビジネスと結合したアジャイルを組織に適用する術について、具体例を交えながら詳しく解説していきます。
数学	ビジネス統計学入門	2.5	ビジネスで「データを活用できるようになりたい」方を受講対象者としています。まずはビジネスでデータを活用するためのポイントを押さえ、次に、統計学の難解な理論や数式は極力抑えつつ、データ分析のポイントである「グラフ化」「関係を見つける」「数値の予測」の基本を学びます。実際にExcelを用いた演習も含むので、ビジネス現場ですぐ役立つ内容です。
数学	仕事に活かす記述統計	1.5	記述統計は手元にあるデータをわかりやすい形に変換・解釈を加えていく学問です。このコースではビジネスにおける記述統計学の使い方を学びます。グラフの取り扱いや統計値の使い方まで、ビジネスに役立つ知識を身につけましょう。

厳選した人気コンテンツをご用意 動画ラインナップ（AI・機械学習/セキュリティなど）

※1「時間」は学習目安時間です。
※2 各動画の価格についてはお問合せください。

カテゴリ	コース名	時間	概要
AI・機械学習	グラフニューラルネットワーク	1	GNN（Graph Neural Network）とはグラフデータを扱うように開発されたニューラルネットワークです。グラフデータとは、「ノード（頂点）」と「エッジ（辺）」で構成されるデータで、SNS、分子構造、IoTのセンサー間の関係性、電力網、コンピューターグラフィックスの3Dモデルなど我々の生活の身近に普及しています。グラフニューラルネットワークから量込みみグラフニューラルネットワーク、Spectral GCNについて学びます。
AI・機械学習	画像認識モデル精度向上のための重要テクニック 画像アノテーション実践	2	画像アノテーションとは画像データにラベルを付ける作業を指します。特に物体検知に用いられる枠付けのアノテーションをLabelImgを用いて実際に行います。アノテーションを行う上でのコツや複数人で行う際の注意点についても解説しています。
AI・機械学習	手を動かして学ぶ! 物体検出実践ガイド	2	YOLOv8を用いた物体検出モデルを作り、Google Colaboratory上でアライグマと猫の物体検出を行います。また結果の可視化、精度の改善にも取り組みます。
ソフトウェア開発	ケーススタディで学ぶ実践PoC入門	1.5	機械学習を用いたシステム開発を実施する上で気をつけるべき点を、機械学習工学という観点から解説します。ケーススタディを通して機械学習プロジェクトを成功に導くためのノウハウを学び、実践できる状態になることがゴールです。
ソフトウェア開発	クラウドを活用したインフラ構築・運用入門	1	システムのインフラにクラウドを活用すると、サービスを迅速に立ち上げられる、スケーラビリティが高くなる、インフラ管理を簡略化できる、といったメリットがあります。本コースで、サーバ、ネットワーク、ストレージ、仮想化、といった重要な要素について理解を深め、クラウドインフラ活用に向けて一歩踏み出しましょう。
ソフトウェア開発	ゼロから始めるバックエンドシステム開発	1	バックエンドシステム開発の基本から技術的な要素まで網羅するコースです。バックエンドエンジニアの役割や必要なスキルから紹介し、データベース、API設計、セキュリティ対策といった重要な技術までをカバー。フロントエンドやクラウドとの連携も含め、実践的な知識を基礎からしっかり習得できます！
ソフトウェア開発	ゼロから始めるWebアプリケーション開発	1.5	Webアプリケーション開発の流れと必要になる技術を学べる入門コースです。アプリケーションとは何か？からスタートして、HTMLとCSS、主要なプログラミング言語、押さえておきたい最新技術までをわかりやすく解説します。開発の全体像をつかみ、Webアプリの世界へ一歩踏み出しましょう！
ソフトウェア開発	ゼロから始めるフロントエンドシステム開発	1.5	フロントエンドシステム開発の基本を体系的に学ぶコースです。ソフトウェア開発におけるフロントエンドの役割とバックエンドとの連携モデルを理解し、UI設計、レスポンスデザイン、モックアップ開発、最新のフレームワーク、PWA（プログレッシブウェブアプリ）、そしてSEO対策に至るまで、実践的なスキルを身につけることを目指します。ユーザー視点でインターフェースを最適化し、効果的なユーザー体験を実現するための知識を深めましょう。

厳選した人気コンテンツをご用意 動画ラインナップ（AI・機械学習/セキュリティなど）

※1「時間」は学習目安時間です。

※2 各動画の価格についてはお問合せください。

カテゴリ	コース名	時間	概要
ソフトウェア開発	全体像がよくわかる！アジャイル開発入門	1.5	アジャイル開発の手法は、ソフトウェア開発だけでなく事業部門などさまざまな領域で活用されています。本コースではアジャイル開発が生まれた背景から紐解き、代表的な手法であるスクラム開発のプロセスや価値基準、大規模システム開発への応用までを学びます。ITエンジニアにはもちろん、ビジネスパーソンにもおすすめです。
ソフトウェア開発	「早めのテスト」で開発の質とスピードを改善！ソフトウェアテストの実践	1.5	ソフトウェアの品質保証には「適切なタイミングで適切なテストを行うこと」が必須です。本コースでは、品質やテストの定義、テストプロセスの理解から始め、代表的なテスト設計技法である同値分割テスト、境界値分析テスト、デシジョンテーブルテスト、状態遷移テストを学びます。ソフトウェア開発に関わる方が対象です。
セキュリティ	情報セキュリティよもやま話 Vol.1	0.5	誰もが日常的にネットワークにつながり、インターネットを通じて大量の情報をやりとりしている昨今。情報セキュリティの基本的な考え方は、今やIT担当者や専門家のみならずあらゆる人が知っておくべき常識になりつつあります。本コースでは、情報セキュリティの基本を、中山とこころん氏の視点からわかりやすく解説します。パスワード、WiFi、スキミングなどにまつわる身近な例を入りに、情報セキュリティについてあらためて考えてみませんか。初回では、zipファイルのパスワードを不正に割り出す手口からセキュリティの本質に迫ります。
セキュリティ	情報セキュリティよもやま話 Vol.2	1	情報セキュリティの基本的な考え方は、あらゆる人が知っておくべき常識になりつつあります。本コースではその基本を中山とこころん氏の視点からわかりやすく解説します。パスワード、WiFiなどの身近な例を入りに、セキュリティについて今一度考えてみませんか。今回は、オンライン攻撃から身を守る対策を取り上げます。
セキュリティ	事業継続のためのサイバーリスクマネジメント概論	1.5	ビジネス職・エンジニア職を問わずセキュリティマネジメントを担う初心者に向けて、セキュリティインシデント対策の考え方と対応方法の概要をお伝えします。DX時代のセキュリティリスクの例を交えながら、事業継続性を高めるための基本的な取り組みについて解説し、自社に引き寄せて考えていただくことをゴールとしています。
セキュリティ	事例で学ぶ！パーソナルデータ活用のためのプライバシー保護	1	プライバシー保護対策は「コスト」ではなく、自社の価値を高めるものです。本コースでは、企業トラブルの事例を通じて注意点を押さえ、法律やリスク低減のフレームワークを学ぶことで、DX推進の守りに強くなることを目指します。サイバーセキュリティに携わる方、パーソナルデータを利活用する方が対象です。

厳選した人気コンテンツをご用意 動画ラインナップ（AI・機械学習/セキュリティなど）

※1「時間」は学習目安時間です。

※2 各動画の価格についてはお問合せください。

カテゴリ	コース名	時間	概要
デジタルテクノロジー	ビジネスチャンスを見逃さない はじめてのメタバース	1	メタバースの歴史を皮切りにメタバースの定義を説明します。次にオープンなメタバースの重要性を説明し、メタバースの流行と投資額の増加および投資理由について説明します。次に、メタバースの実利用例を紹介して、最後にメタバースのデメリットを説明します。
デジタルテクノロジー	仮想空間を使って現実を改善 デジタルツイン入門	1.5	デジタルツインは、医療、災害対応等の社会生活の中でも重要となりつつある技術です。本コースでは、デジタルツインの歴史・定義から始め、関連する技術の動向や応用事例を学び、デジタルツイン（特に製造業・建築土木・都市管理・医療分野）に関する正確な認識と知識を獲得します。
デジタルテクノロジー	Microsoft Copilot入門	1	「Copilot」はMicrosoftが提供する生成AIです。本コースではWebブラウザで無料で使える「Microsoft Copilot」と法人向けで有料の「Copilot for Microsoft 365」の基本操作を解説します。
デジタルテクノロジー	LLMに外部知識を取り入れる！RAG入門	1	生成AIに新たな情報源を追加することができるRAG（Retrieval-Augmented Generation）は、生成AIをより活用する上で有用な仕組みです。本コースではAI系のプロジェクトを先導する方やシステム・アプリ開発者を対象に、RAGの概要、活用事例、主要なRAGツールについて解説します。
デジタルテクノロジー	現実世界をデジタル化してDXを推進！フィジカルコンピューティング	1.5	現実世界のデジタル化を担うフィジカルコンピューティングは、ハードウェア体験重視からソフトウェア体験重視へと変化した価値観を背景に生まれた新領域です。センサー、通信、生成AIといった技術と、クラウドファースト・機能のシンプル化といった社会ニーズを理解し、ビジネスにインパクトをもたらすことを目指します。
デジタルテクノロジー	ChatGPTで学ぶプロンプトエンジニアリング入門	1	ChatGPTをはじめとする生成AIを使うための指示文の書き方（プロンプト）を学ぶコースです。生成AIについての基本事項を理解し、業務のなかで効果的に生成AIを活用できるようになることを目指します。

厳選した人気コンテンツをご用意 動画ラインナップ（GX）

※1「時間」は学習目安時間です。
※2 各動画の価格についてはお問合せください。

カテゴリ	コース名	時間	概要
GX	10分でキャッチアップ_GXとは	0.5	GXやカーボンニュートラルについて、聞いたことはありますか？ いずれも「地球の気候変動対策のために、二酸化炭素のような温室効果ガスを減らしていくこと」を表す言葉です。本コースでは、身近なGXの事例を挙げながら、キーワードの定義や意味、必要な技術、抱える課題などを10分にまとめてご紹介します。
GX	10分でキャッチアップ_SX・GX・DXの関係性	0.5	持続可能性や環境への意識が高まり、SXやGXという言葉を目にする機会が増えたのではないのでしょうか。このコースではSX、GX、DXという言葉の意味、それらの関係性について10分にまとめて解説します。
GX	ゼロから学ぶカーボンニュートラル基礎	1.5	カーボンニュートラルについて興味はありニュースなどで見聞きするが、全体像が分からないという方向けのコースです。本コースでは、カーボンニュートラルについて「トレンドの全体像を知ることができる」「職種別のアクション案を考えることができる」「DX×カーボンニュートラル分野について、事業例について理解を深める」をゴールとしています。
GX	ゼロから学ぶカーボンニュートラル基礎 2024年度版	1.5	カーボンニュートラルを巡る規制や政策は急速に変化しています。本コースでは、カーボンニュートラルに関する市場構造・政策動向、企業に求められる対応やビジネスチャンスについて、基本的な考え方から具体事例まで解説。気候変動対策の全体像を把握し、実践的な知識を身につけることを目指します。また、2021年に公開した「ゼロから学ぶカーボンニュートラル基礎」制作時からの変化についても紹介します。
GX	カーボンニュートラルの全体像	2	カーボンニュートラルを推進していくためには、エネルギー問題、技術、業界別の課題など、幅広い観点での理解が必要です。本コースでは、再生可能エネルギー、エネルギー蓄積、二酸化炭素の回収・貯蔵技術、自動車業界や農業の課題などを包括的に押さえることで、カーボンニュートラルの全体像をクリアにしていきます。また冒頭では、カーボンニュートラルのような新たに登場する社会変革に対応できる力とDX能力との関連についても解説します。
GX	カーボンニュートラルと世界の動向	1	本コースはカーボンニュートラルの世界的な動きや流れをつかみたい方を対象としたコースです。カーボンニュートラルに関する世界の動向をつかむこと、そして、各国の取組例を知ることで今後のビジネスにおける機会をつかむヒントが得られた状態をゴールとしています。

厳選した人気コンテンツをご用意 動画ラインナップ（GX）

※1「時間」は学習目安時間です。

※2 各動画の価格についてはお問合せください。

カテゴリ	コース名	時間	概要
GX	事例で学ぶ！GX事業立案	1.5	自社ビジネスでどうGXを実現すべきか悩んでいませんか。本コースではGXを4視点9要素に分解し32の先行事例からGX事業の要点を解説します。自社での企画立案にお役立てください。なお、本コースは「GX事業立案ワークショップ」の講義部分を動画にしたものです。
GX	カーボンニュートラルと電力調達	1	本コースは、カーボンニュートラルを実現するにあたり「電力の脱炭素化」が重要であるということは理解しつつも、電力を脱炭素化するためにどのような手段があるのか具体的なイメージがつかめていない方を対象としたコースです。「電力の脱炭素化が求められる背景」「電力を脱炭素化することの意義・優先順位」「再エネ電力の調達方法と課題や今後の展望」「蓄電池の活用方法と課題」を把握することをゴールとしています。
GX	企業分析に役立つ！サステナビリティ情報開示の読み解き方	1	サステナビリティ情報開示から企業戦略を読み解く力を身につけます。サステナビリティ情報開示の基本を押さえてから、企業の具体的な事例をもとに、どこから何を読み取れるかを学びます。サステナビリティの開示担当者、自社戦略を検討する事業責任者、顧客へのソリューション提案を行う営業担当者などが対象です。
GX	電力業界とカーボンニュートラルー取り組みの現状と今後の課題	1	電力業界のカーボンニュートラルに向けた取り組みについて、背景となる社会環境の動向から、電力業界の打ち手の方向性まで概要を解説します。本コースでは、電力業界における脱炭素の潮流やCO2排出の現状、取り組みや課題について理解を深めていただけます。

